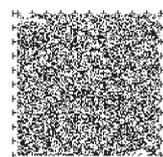
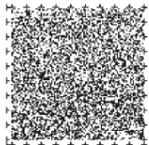


久留米市男女平等推進センタージャーナル

JOURNAL

2024 vol.76



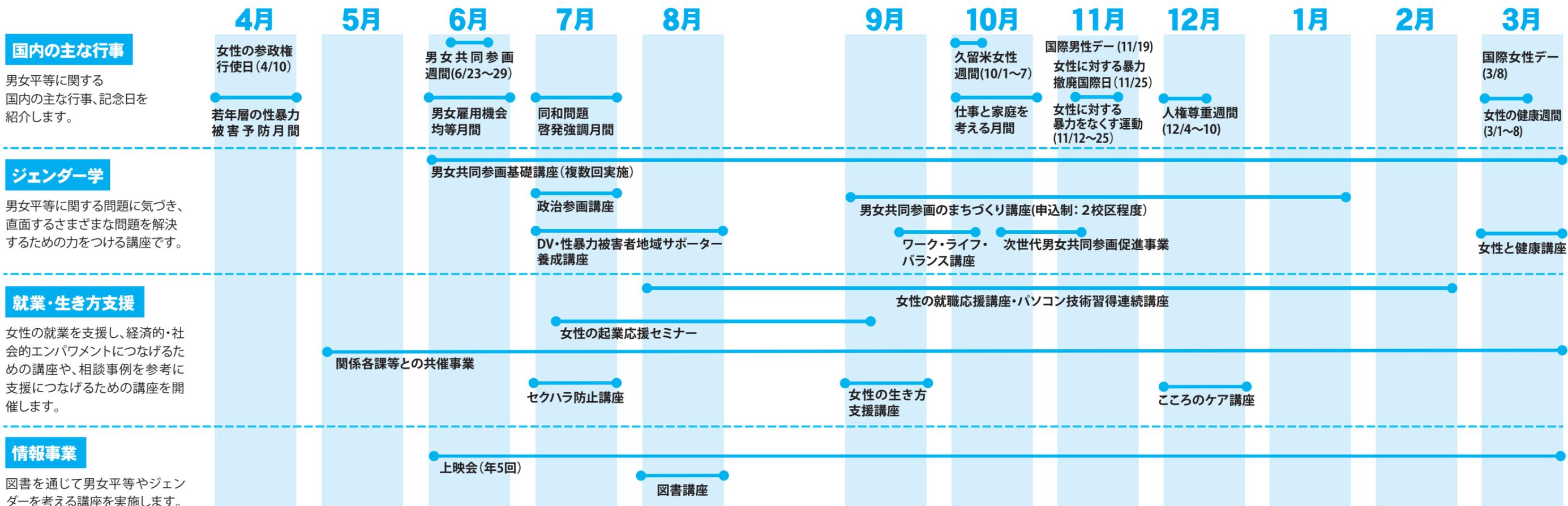


特集

久留米市男女平等推進センターでは、今年度もさまざまな講座やイベントを企画し実施していきます。新しい発見、新たな出会い。これからの生き方のヒントが見つかるかも!? ぜひセンターの事業に参加してみませんか!

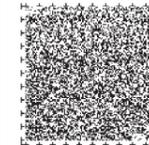
男女平等推進センター 年間計画 2024

※スケジュール、内容は変更することがあります。



Pick up 年間を通して行う事業

- デートDV防止講座・地域啓発講座・関係機関への講師派遣・看護大学生と学ぶ性の健康教育(依頼に基づき随時受付)
- 女性の総合相談(毎日10時~18時...休館日を除く、ただし木曜日17時~20時、日曜日10時~17時)
- 弁護士相談(第2・第4木曜日14時~15時30分、第3木曜日17時30分~19時 女性対象/要予約)
- 男性のための電話相談(毎月1回)
- 市民グループ公募企画事業・共催事業(随時受付) ● 次世代動画作成支援事業(随時受付)
- ブックタイム事業(5月以降毎月1回) ● 男女共同参画サポーターによる地域啓発事業(随時受付)



Pick up 男女平等推進センター3大事業

男女共同参画週間 記念講演会(6月)

男女共同参画週間(6月23日~29日)を記念し、著名人による講演会を行います。(写真は昨年度講師 浜田敬子氏)



久留米女性週間記念事業 くるめフォーラム2024(10月)

久留米女性週間(10月1日~7日)記念事業として記念講演、映画上映、市民企画、展示バナーなどを行う「くるめフォーラム」を実行委員会形式で行っています。(写真は昨年度講師 望月衣塑子氏)



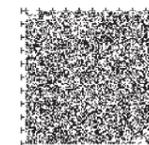
パープルリボンキャンペーン(11月)

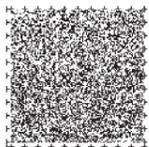
11月12日から11月25日までの「女性に対する暴力をなくす運動」期間中に、暴力の撤廃に向けてのさまざまなキャンペーン事業を行います。



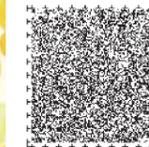
今号の表紙

今号の表紙は国際女性デーにちなんだ一枚。3月8日は国際女性デー。写真はそのシンボルでもあるミモザです。ミモザはアカシアともよく呼ばれますが、正確には異なる種とのこと。なぜミモザが国際女性デーのシンボルなのか。そもそも国際女性デーとは。次のページで特集しています。





特集



国際女性デーを知る

女性の生き方を考える日

毎年、3月8日は国際女性デー、女性の生き方を考える日と国連で定められた日です。現在、新聞やテレビなど多くのマスメディアでこの日に取り上げられるようになりました。しかしながら国際女性デーについて詳しく知る人は多くありません。そもそも何の日なのか、どうしてこの日になったのか、何をすべき日なのか、一緒に国際女性デーを紐解いていきましょう。

始まりはアメリカ、ニューヨーク

国際女性デーの起源は1908年3月8日、ニューヨークで約1万5000人の女性労働者が給与・待遇の改善と参政権を求めるデモを起こしたことです。当時、女性の地位は男性に比べ非常に低く、差別や不平等の解消、男性と同じ権利を求め多くの女性たちが声を上げ、運動を起こしていました。そんな中、1910年にデンマークのコペンハーゲンで行われた国際社会主義女性会議にて、女性の権利を求める運動に敬意を表し、国際的な性格を有する「女性の日」が制定されます。ここから多くの国で記念行事が行われ始めました。この時点ではまだ具体的な日付は定められていません。

- 1908 3.8 ニューヨークで約1万5000人の女性労働者が処遇改善及び参政権を求めデモ
- 1910 コペンハーゲンにて「女性の日」が制定
- 様々な国で記念事業が開催
- 1975 国際婦人年 国連により3月8日が国際女性デーに制定

女性の日は戦争に反対する日としての側面ももっていました。第一次世界大戦中の1913年、ロシアの女性たちは2月の最終日曜日(グレゴリオ暦で3月8日にあたる日)に平和運動の一環として記念事業を行いました。1917年、戦争が続く中、ロシアの女性は再び「パンと平和」を求め2月最終日曜日に抗議とストライキを決行。これは男性労働者、更には兵士を巻き込んだ大規模な蜂起となり、4日後、ロシア皇帝は退位し、暫定政府は女性に選挙権を認めました。

国際女性デーが3月8日と定められたのは1975年、国際婦人年にあたる年です。この年に国連により3月8日は国際女性デーと定められ以降、多くの国で記念行事が行われています。



ミモザの由来はイタリア

国際女性デーはミモザの花がシンボルとなっていることが多くあります。それはなぜでしょうか。その由来はイタリアにありました。イタリアでは国際女性デーの日に女性に感謝を込めてミモザを送る風習があります。これはミモザが2月から3月にかけてヨーロッパの各地に咲く花であったことが理由です。これを受け多くの国でミモザを国際女性デーのシンボルとして取り扱うようになりました。



日本での国際女性デー

国際女性デーは女性の生き方を考える日として、女性の権利や政治・経済分野への参加の推進を目的としています。近年、日本では国際女性デーに合わせて多くのマスメディアでジェンダーに関する特集記事が組まれるようになりました。多くの企業や団体が記念事業を行うことも少なくありません。また、国では毎年3月8日に男女共同参画担当大臣が、メッセージを发出しています。2022年以降は内閣総理大臣もメッセージを发出し、「政府として、企業等における女性登用の加速化、仕事と家庭の両立支援策の充実、男女間の賃金格差の是正などの課題に、一丸となって取り組み、女性の活躍を全力で後押しします。」と、男女共同参画社会実現に向けた決意表明が行われています。

久留米市の取り組み

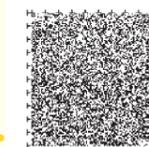
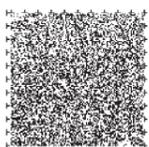
久留米市男女平等推進センターでは国際女性デーの取り組みの一環として、2022年3月に当時の在福岡米領事館広報担当領事ユキ・近藤・シャーさんを招いて、講演会を開きました。Respect for Diversity and Connect to the Future(多様性を尊重し未来につなぐ)と題し、女性活躍を推進し、多様性を尊重しながら、誰もが活躍できる職場や社会を作るために必要なことは何かについてお話いただきました。

以前は日本と同様に、女性議員が過少だったアメリカ。現在は女性副大統領登用など女性の政治参画が進んでいます。「女性が代表であるという存在に意味があり、言葉や文化が相違している人同士が関係性を築くことは重要です。」といった講師の言葉が胸に残っています。

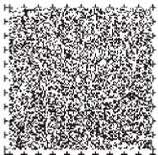
また、市民団体の企画による「国際女性デーを考える ミモザの花を咲かせよう」も開催され、多くの方が男女平等への想いをメッセージカードに記していました。



ユキ・近藤・シャーさん



出典：内閣府男女共同参画局HP、国連広報センターHP 他



事業紹介

女性の政治参画講座

「声を届ける」ところから

8月20日実施
210・211研修室

若い世代の政治参加の促進に取り組んでいる能條桃子さんを講師にお迎えしました。まず、能條さんがどのように政治やジェンダーに興味を持ち、取り組むようになったかという経緯の紹介がありました。ここ15年ほどの日本の政治とジェンダーに関する状況を参加者も振り返ることができました。

- 小6の夏休みに市の青少年議会に参加した。市長が女性だったため、女性が働く場が教師や店員の他にもあることに気づいた。
- 私立高校に入学した際に、経済的に恵まれた環境の人ばかりとなり、多様な家庭環境があった公立中学校とは状況が異なることに気づいた。
- 大学時代に若い世代にも固定的性別役割分担意識が根強くあることに疑問を感じた。
- デンマークの国政選挙があった時期に留学した。投票率80%超えという「民主主義の担い手を育てる土壌」を体感でき、留学中に日本の若者にむけて政治参画を促す活動を開始した。

次に、女性と若者が地方議会に少ない現状の説明があり、能條さんの取り組みの紹介がありました。

- ①若い世代の投票率向上、②被選挙権年齢の引き下げ、③政治分野でのジェンダー平等、という3つの課題に主に取り組んでいる。
- 政治参加は立候補と投票だけではない。SNSでの発信、署名活動、選挙ボランティアなど、「私にもできるかも」と思える身近な取組みが多くある。
- 男女平等の実現のための「長い列に加わる」という言葉がある。私も列に加わり、社会を今よりも少しでも良い状態にして次の世代に渡したいと考えている。



一般社団法人
NO YOUTH NO JAPAN
代表理事 能條 桃子さん

参加者の声

「声を上げれば、ちゃんと届く、変わる」一人ひとりの政治参加が大事だとわかりました。

事業紹介

LGBT講座

性的マイノリティを理解していく 歩みを止めないために

2月4日実施
210・211研修室



九州大学大学院人間環境学
研究院 講師
井上 智史さん

参加者の声

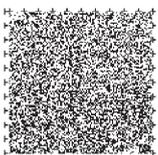
「基本的な権利」は何人も犯してはならない!と思っている。自分らしく、生きられる社会の理解がもっと広がるといい。

当事者がその場にいるから対応するというだけでなく、いるかもしれないと考え、排除しない社会の仕組みをつくっていくことが求められます。

性的マイノリティに関して国民の理解を広めるため「LGBT理解増進法」が2023年6月に施行されました。LGBT当事者は、周囲の人の無理解や偏見から、生きづらさを感じる場面が数多くあるといわれています。

2月4日、これらの問題について正しく理解し、偏見や差別を解消するため九州大学大学院講師の井上智史さんを講師に招き、講座を開催しました。

- 性のあり方が多数派の人と何らかのかたちで異なっている人びとのことを性的マイノリティという。性的マイノリティが経験する生活上の困難として、学校教育、就労における困難、家族からの排除、貧困問題、災害における脆弱性などがある。
- 学校教育では、小学校・中学校・高校の学校生活におけるいじめ被害の経験率は58.2%に達している。性的マイノリティの存在を想定していない学校の慣習等がその背景にある。
- 労働市場への障壁としては、「求職・就職活動」の段階から「規則・環境整備」、「いじめ・ハラスメント・無理解」、「カミングアウト・アウトティング」など多岐にわたる。
- どんな場面で、誰が生活上の困難や生きづらさを感じているのかを想像し、自分の生活している範囲で当たり前になっていることへ問いかけをする、常識を疑ってみることが重要。



女性の生き方支援に関する新しい法律が成立、または改正されました。
今回は、その法律についてご紹介します。

「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」

令和6年4月1日にこの新法が施行されます。この法律には「女性の福祉」「人権の尊重や擁護」「男女平等」の視点が規定され、困難な問題を抱える女性への支援に必要な施策を国、地方公共団体が講じる責務が明記され、民間団体との協働による支援も盛り込まれています。

「配偶者暴力防止法に基づく保護命令制度」

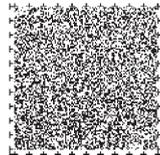
こちらは改正になり令和6年4月1日より施行されます。保護命令制度は、地方裁判所が、被害者の申し立てにより相手配偶者または同居中の交際相手に対して被害者の身辺に付きまとうことの禁止や面会の要求、電話やメール、SNS等での連絡の禁止を命令する制度です。

改正の主なポイントは▼

- 重篤な精神的被害を受けた場合にも保護命令が適用される可能性がある
- 被害者とその子、親族への接近禁止命令、電話等禁止命令などが6か月から1年へ延長
- 被害者の子への電話等の禁止命令が創設
- 保護命令違反に関する罰則が厳罰化

相談室 だより

新法や法改正に見る
女性支援



変わる法律と女性支援

刑法改正では性暴力に関する部分に変更がありました。令和5年7月13日から強制性交等罪から不同意性交等罪へと変更されています。

これまで女性たちは、生きづらい社会の中で懸命に生きてきましたが、現実に即した法制度へと変化しつつあります。

まだまだ厳しい状況はありますが、これらの法律を女性支援に役立てるために各関係機関とも連携を取りながら、女性の権利が正当に守られるよう、私たち相談員は、必要な支援を行いたいと思っています。どうぞお気軽にご相談ください。

性別による差別などを受けたら相談を

－男女平等推進委員制度の紹介－

久留米市は男女平等推進委員制度を設けています。弁護士などの専門知識のある推進委員が、男女平等について市民からの意見や相談を受け、その解決に当たります。相談無料で申出手続きも簡単です。

相談から解決まで

相談者

- ① 市の施策への意見
- ② 権利侵害に関する救済の申出

男女平等推進委員

相談者への聞き取り⇒調査
▼
市や事業者・団体と意見調整
場合により是正要請・勧告
▼
相談者への結果の通知

相談事例

- 市が行う事業が性別に役割分担意識を植え付けるもの
- セクシュアル・ハラスメントを受けた
- 産休や育休を取ろうとすると嫌がらせを受ける など

Q 相談できる内容は？

- ①【市への意見】市が行っている事業などで男女平等になっていないと思うことがある
- ②【救済の申出】職場や学校、団体で、性別を理由とする差別的な扱いを受けているなどで相手に改善を求めたい

Q 相談できる人は？

- ①【市への意見】市内に在住、通勤、活動の拠点がある人
- ②【救済の申出】市内で性別を理由とする差別的な扱いなどを受けた当事者、またはそのような事実を知っている人

Q 相談の方法は？

所定の申出書に必要な事項を記入後、問い合わせ先に持参または郵送してください。
申出書は、問い合わせ先と男女平等推進センターに設置。市ホームページからも取得できます。

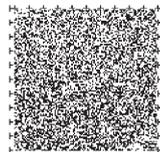
問い合わせ先

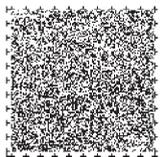
男女平等推進委員事務局
(男女平等政策課内)

TEL:0942-30-9246
FAX:0942-30-9703



▲
制度HP





＼ 図書情報ステーション利用者による／

おすすめ図書の紹介

図書情報ステーション

「男女平等推進センター所蔵の本であなたのおすすめの本」を募集しました。その中から2冊紹介します。詳しくは図書情報ステーションまでお尋ねください。☎0942-30-7801
【開館時間】月曜～土曜日10:00～18:00・日曜日10:00～17:00
【休館日】月の末日、第2・第4木曜日、国民の祝日・休日、年末年始・特別整理期間



傷ついたあなたへ
わたしがわたしを
大切にすること
DVトラウマからの回復
ワークブック

オヌヌ[®]
(つきほしさんおすすめ)

レジリエンス／著
梨の木舎 2005.10



弟の夫 1～4

オヌヌ[®]
(M・Sさんおすすめ)

田亀 源五郎／著
双葉社(ACTION COMICS)
2015.5



DVは、パートナーからの「力」と「支配」です。だれにも話せずひとりで苦しみ、無気力になっている人が、DVやトラウマと向き合い、乗り越えていくことは大変なことです。この本は、自分に起きたことに向き合い、「わたし」を大切に生きていくためのサポートをするものです。



弥一と夏菜、父娘二人暮らしの家にマイクと名乗る男がカナダからやって来た。マイクは弥一の双子の弟の結婚相手だった。「パパに双子の弟がいたの?」「男同士で結婚ってできるの?」幼い夏菜は突如現れたカナダ人の叔父さんに大興奮。弥一と弟の夫マイクの物語が始まる。

久留米市男女平等推進センター

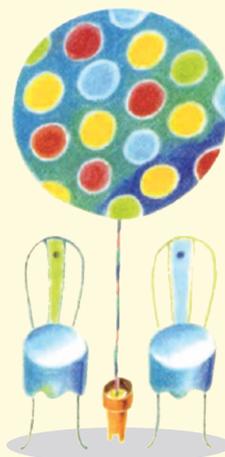
女性のための総合相談

あなたはひとりではありません
まずは、お電話してみませんか?

☎ 0942-30-7802

面接・電話相談(面接は要予約)

月曜日・火曜日・水曜日・金曜日・土曜日 10時から18時
日曜日 10時から17時 木曜日 17時から20時
休み…月の末日・祝休日・年末年始



編集・発行

令和6年3月

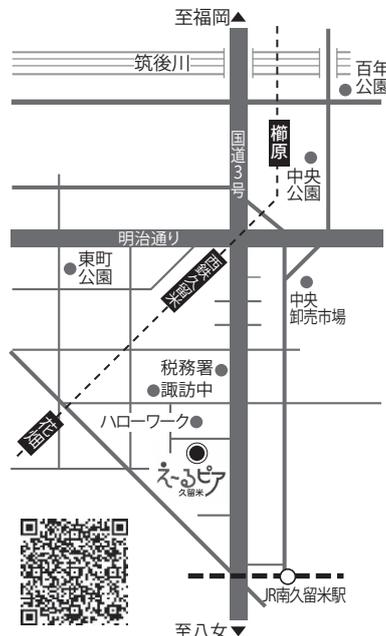
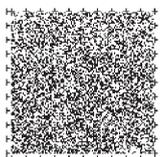


久留米市 男女平等推進センター

〒830-0037 久留米市諏訪野町1830-6 え〜るピア久留米内
Tel 0942-30-7800 Fax 0942-30-7811
E-mail danjo-c@city.kurume.lg.jp

アクセス

- 徒歩 西鉄久留米駅から約10分(約700m)
- バス 西鉄久留米駅から約5分
JR久留米駅から約20分 [税務署前] 下車、徒歩5分
- P 駐車場(有料)はございますが、おいでの際はなるべく公共交通機関をご利用ください。



ホームページは
こちらから▶